

## 1 放火

【関連章第3章1】

### 事例 「路上の自転車に載せていた荷物に放火された火災」

出火時分 12月 0時ごろ

用途等 非該当

被害状況 自転車1台焼損

#### 概要

この火災は、路上に置かれていた自転車から出火したものです。

出火原因は、何者かが何らかの火源を使用して、路上に置かれている自転車に放火したものです。

出火箇所付近の通行人は、路上に置かれていた自転車から炎が上がっているのを発見したため、自身の携帯電話で119番通報を実施しています。

また、パトカーでパトロール中であった警察官は火災を発見後、パトカーに積載していた粉末消火器を搬送し、初期消火を実施しました。

#### 教訓等

この火災は、路上に置かれていた自転車は何者かに放火されたものです。防犯カメラが設置されていたため、放火した行為から出火までの一連の映像が残っていました。

放火火災は、長期間放置されたごみ、夜間の人通りの少ない時間帯や人の目のつかない場所で発生しやすい傾向にあるため、防犯カメラの映像は、第三者に対する説明の客観的な資料となると同時に、設置されていることを周知することで大きな抑止力になります。

放火火災を予防するためにも、防犯カメラが設置されていることを周知するとともに、敷地内や建物内、外周部には不必要に可燃物等を置かないことや、夜間、ごみ置き場にごみを捨てないことなどを心がけましょう。

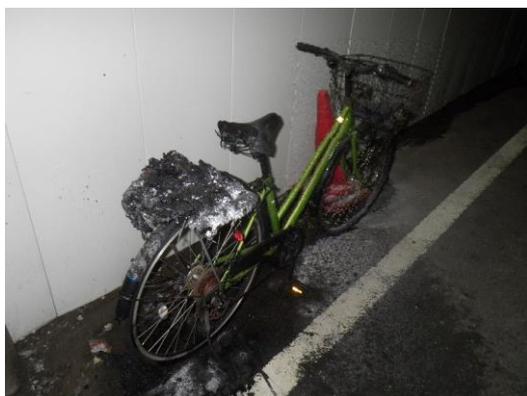


写真 1-1 焼損した自転車の状況



写真 1-2 自転車の焼損箇所